

ふりがな	もりした いわお		※2019年4月21日現在
氏名	森下 いわお	年齢	51歳
所属 (政党・会派等)	日本共産党	当選回数	2
略歴	<p>日本福祉大学卒業後、社会福祉法人に就職。障害のある人の働く場(作業所)、生活の場(グループホームなど)で20年勤務。阪神淡路大震災では、現地の障害者支援センターで救援支援活動に従事。</p> <p>2011年に初当選、副議長、厚生文教委員会副委員長などを務める。</p> <p>現在、総務都市委員会副委員長、議会改革検討協議会委員。</p>		

【設問1】 『青少年が夢を持って社会参画できるまち』について、お聞かせください。

※<第4次泉大津市総合計画 施策2>「学びあうひとづくり 彩あるまちづくり」関連

(重要だと思うテーマ)	※30字以内
どの子どものびのびと学び育ちあえる学校、就学前の環境整備	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>現在小学1、2年生までの35人以下学級(少人数学級)を、3年生以上にも広げる。教員がひとりひとりの子どもに向き合え、学力向上や教員の多忙化解消にも最も有効で、どの子ども落ちこぼれさせないようにすることが重要。そうした中での学びと育ちが、自己肯定感を高め、好きなこと、やりたいことに挑戦できる子どもへの成長につながる。就学前の安心できる子育て環境も育ちの第一歩として重要と考える。</p>	

【設問2】 『市民とともにつくる災害に強い安全なまち』について、お聞かせください。

※<施策4>「安心で心やすらぐまちづくり」関連

(重要だと思うテーマ)	※30字以内
身近な地域でのコミュニティの場や機会の確保と公的役割	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>災害時の避難など自ら取り組む自助、地域の助け合いの共助は、日常的な自治会や地域の見守り活動などで重要なのは最もだが、そこにのれない人が必ずいる。そうした人が参加できる取り組みのための場や機会をどう作るかと共に、様々な支援を必要とする人たちの多くは孤立しがちで、把握が地域では難しい場合が多々あるため、公的役割として地域や市との情報共有、連携の中でいざという時に対応できるようにする。</p>	

【設問3】 『誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり』について、お聞かせください。

選択テーマ 1:子ども・子育て支援 2:地域福祉 3:高齢者福祉
4:障がい福祉 5:保健・医療

※<施策3>「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ)	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。
子ども・子育て支援	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>人口減少が大きな問題だが、全国には子育て支援策の充実で人口増の自治体がある。</p> <p>子ども医療費助成の更なる拡充、保育所待機児童の解消、放課後の預かり保育「なかよし学級」の時間延長、給食無償化など子育て世代にとって魅力ある施策の充実は、市立病院の周産期母子医療の安心して出産できる環境と合わせ、本市の大きな特徴となる。どこに行くのも便利で近い、通勤にも近く、子育て世代を呼び込める。</p>	

【設問4】 『人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち』について、お聞かせください。

選択テーマ 1: 地場産業の振興 2: 湾岸ベイエリアの活用 3: ICT・AI化の推進
 4: その他

※<施策6>「誇れる・選ばれる・集えるまちづくり」関連

【重要だと思ふテーマ】	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。
その他の方は30字以下で記入	
住環境の整備、スポーツ・文化・音楽の環境整備	
【自由記述欄】	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>住んでいる人たちに魅力あるまちにしていくことが重要。公園や大津川、港湾エリアの自然環境を活かした魅力アップで住みやすさ、心安らぐ場の環境整備、スポーツや文化、音楽が存分に出来る環境の整備で、人が集まり、人が多く集まれば事業者も増え活気につながる。市民会館の跡地活用などの計画には、計画段階からの積極的な市民参加で多様な市民のアイデアを集めて行なうことがもっと必要。</p>	

【設問5】 あなたが重要だと思ふ泉大津市における施策テーマについて、お聞かせください。

(任意記載項目)

(重要だと思ふテーマ)	※30字以内
高すぎる各種保険料引き下げ、介護サービス医療費一部負担軽減	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>あまりにも高い国民健康保険料(国保)の引き下げは、今は国保でない他の健康保険の方にとっても、退職後などほとんどの人が入ることになり、すべての市民にとって重要な問題。とりわけ子どもや家族の人数が多いほど高い保険料の減免制度の拡充。介護サービス、医療費負担も重すぎるため負担軽減策。住民のいのちと暮らしを守る地方自治体の第一の役割を發揮し、市として市民の安心に取り組むこと。</p>	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。